

(事務担当)

所属名：農林総合研究センター 農業試験場  
総合研究部

直通：076-283-0073

## 令和6年度病虫害発生予報第2号について

今後発生が予想される水稻、麦類、大豆、果樹、野菜の病虫害の発生量や防除上の注意事項について掲載します。

1 予報期間 5月下旬～6月中旬

2 予報内容

水 稻

**葉いもち**の発生は**やや多**と予想される。本田に放置された補植苗は伝染源となるので、直ちに除去する。箱施薬していない場合は6月中旬に予防粒剤を散布する。発生を認めた場合は初期の防除を徹底する。

**イネミズゾウムシ**の発生は**多**と予想される。箱施薬していないほ場では田植え後のほ場巡回に努め、1株当たりの成虫数が0.3頭以上認められたら直ちに防除する。

**斑点米カメムシ類**の発生は**やや多**と予想される。生息場所となる農道、畦畔、休耕田及び遊休地等の除草を徹底する。

大 豆

**茎疫病**の発生は**やや多**と予想される。発芽直後の過湿条件は発生を助長するので、排水対策を徹底する。

果 樹

**ナシ黒星病**の発生は**やや多**と予想される。降雨前の薬剤防除を徹底する。

**ナシ黒斑病**及び**リンゴ斑点落葉病**の発生は**やや多**と予想される。薬剤耐性菌の出現を防止するため、同一系統の薬剤を連用しない。

**カキ炭疽病**の発生は**やや多**と予想される。感染しやすい徒長枝および不定芽を除去する。降雨前後の薬剤防除を徹底する。

**ハマキムシ類**の発生は**多**と予想される。発生初期の防除を徹底する。

**カメムシ類**の発生は**多**と予想される。発生を認めた場合は直ちに防除する。【病虫害発生予察注意報第1号（令和6年5月16日）参照】

**アブラムシ類**の発生は**やや多**と予想される。抵抗性の発達を防止するため、同一系統の薬剤を連用しない。

**アザミウマ類**の発生は**やや多**と予想される。発生初期の防除を徹底する。

**シンクイムシ類**の発生は**やや多**と予想される。被害を受けた新梢を直ちに摘除し、土

中深くに埋設する。

野菜・花き

**スイカつる枯病**及び**スイカ炭疽病**の発生は**やや多**と予想される。ほ場排水に努めるとともに、トンネル除去時及び発病初期の防除を徹底する。

**スイカ褐斑細菌病**の発生は**やや多**と予想される。ほ場排水に努めるとともに、発病初期の防除を徹底する。

**オオタバコガ**の発生は**多**と予想される。発生初期の防除を徹底する。

**アブラムシ類**及び**コナジラミ類**、**アザミウマ類**の発生は**やや多**と予想される。抵抗性の発達を防止するため、同一系統の薬剤を連用しない。

※病害虫防除の実施に当たっては、最新の農薬使用基準を確認し、遵守する。

また、周辺作物への飛散防止対策を徹底する。